



Joy for Life

# 2023年3月期 第3四半期 決算概況

2023年2月6日

株式会社 J-オイルミルズ

問い合わせ先：

コーポレートコミュニケーション部 Tel. 03-5148-7101

# Agenda

- 1 2022年度 第3四半期 決算概況
- 2 2022年度 業績予想
- 3 参考情報

# 2022年度 第3四半期 連結業績概要

## 2022年度 第3四半期業績

(億円)

	前期	当期	前年差	前年比
売上高	1,485.7	1,946.8	+461.1	+31.0%
営業利益/営業損失	1.9	▲3.5	▲5.5	-%
経常利益/経常損失	5.6	▲1.4	▲7.0	-%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15.5	3.1	▲12.3	▲79.9%

### 2022年度 第3四半期実績

- 原料価格高騰を受けた価格改定とミール価格の上昇により増収
- 価格改定と継続的なコストダウンを進め、収益基盤の強化に努めたものの  
原料高や為替相場の円安ドル高進行による原料価格高騰の影響により減益
- 当期純利益は前期の特別利益（ケミカル事業関連売却益約13億円など）の反動により減益

# 2022年度 第3四半期 セグメント別業績

## 2022年度 第3四半期業績

(億円)

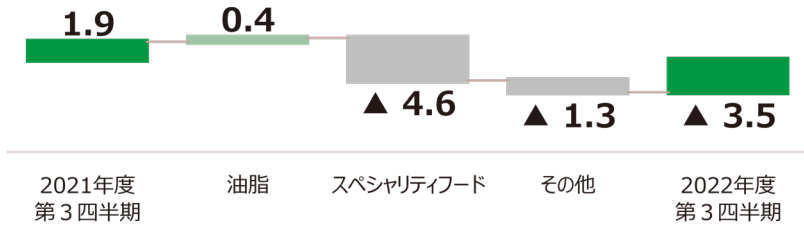
	前期	当期	前年差	前年比
<b>売上高</b>				
油脂事業	1,307.2	1,767.4	+460.3	+35.2%
スペシャルティフード事業	160.7	171.7	+11.0	+6.9%
（内乳系PBF）※	97.2	103.3	+6.1	+6.3%
（内食品素材）※	63.5	68.5	+5.0	+7.8%
その他事業	17.9	7.7	▲10.2	▲57.1%
連結合計	1,485.7	1,946.8	+461.1	+31.0%
<b>営業利益</b>				
油脂事業	1.8	2.2	+0.4	+24.7%
スペシャルティフード事業	▲2.3	▲6.9	▲4.6	-%
（内乳系PBF）※	▲4.5	▲8.3	▲3.9	-%
（内食品素材）※	2.2	1.4	▲0.7	▲33.6%
その他事業	2.4	1.1	▲1.3	▲53.5%
連結合計	1.9	▲3.5	▲5.5	-%

※2022年度より油脂加工品を乳系PBFに名称変更、テクスチャーデザインとファインを食品素材事業に集約

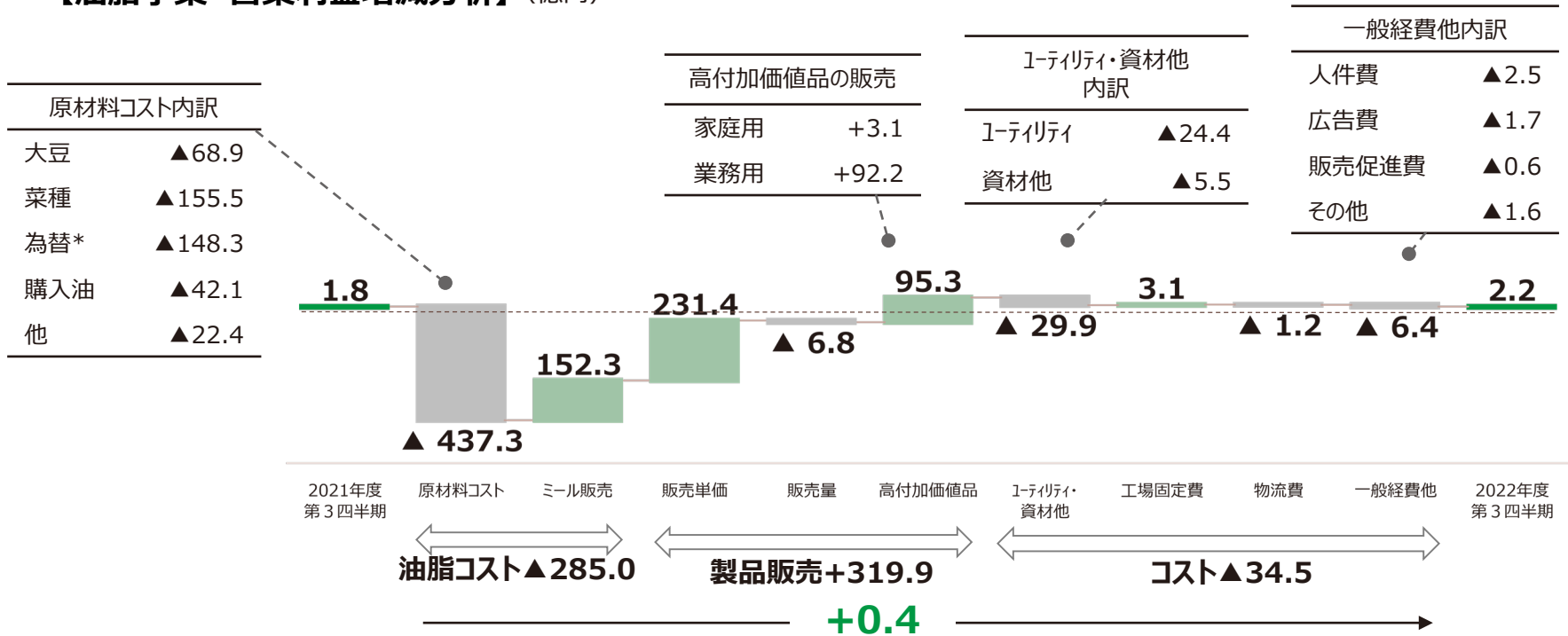
# 2022年度 第3四半期 営業利益増減分析

## 【セグメント別営業利益 増減】(億円)

対前年同期実績



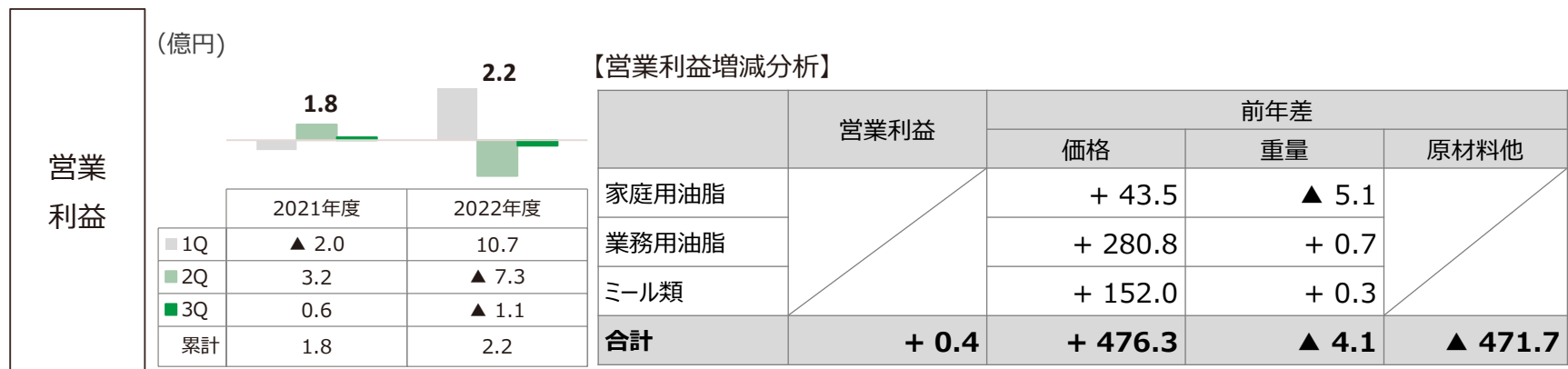
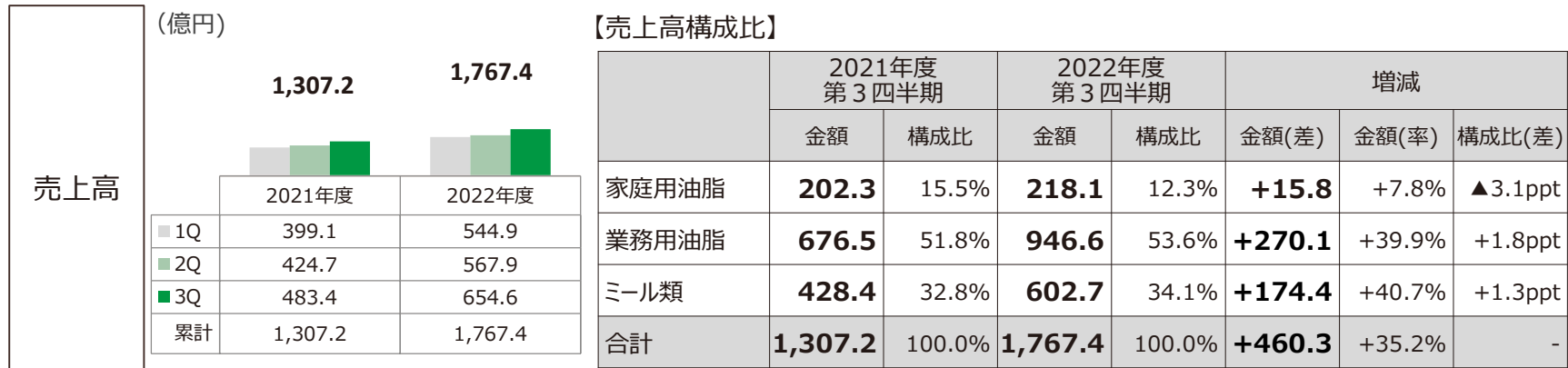
## 【油脂事業 営業利益増減分析】(億円)



\*為替・・・21年度第3四半期:109円/1ドル、22年度第3四半期:128円/1ドル

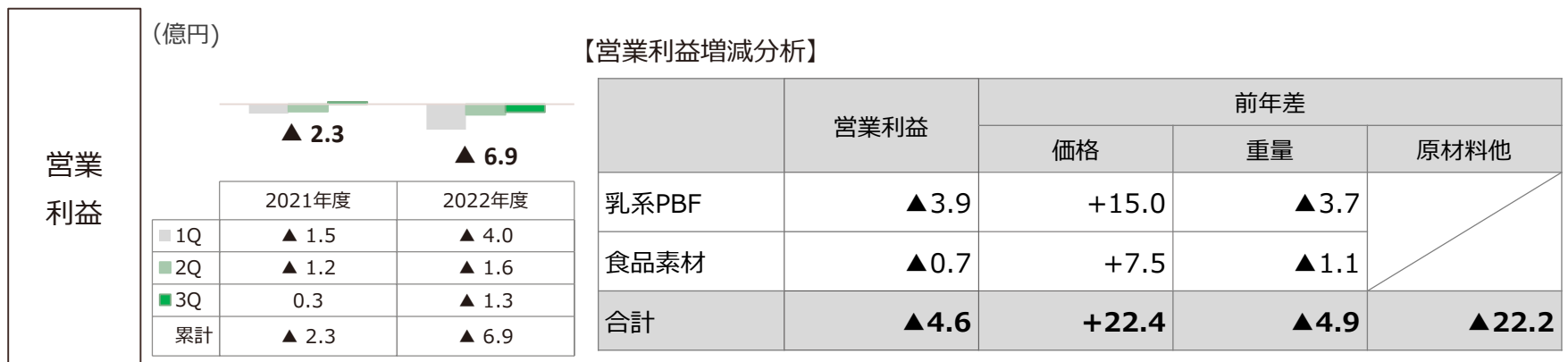
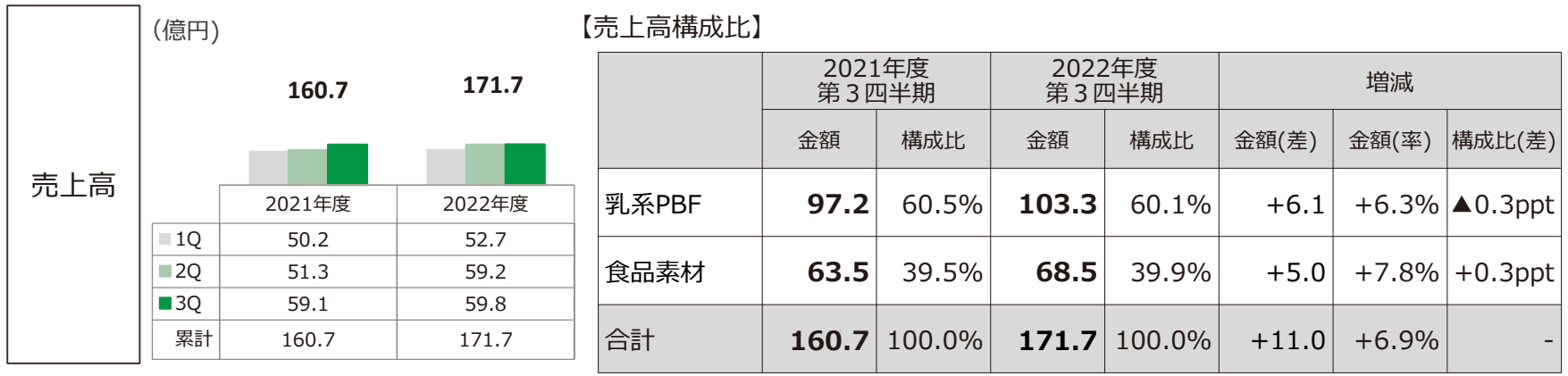
# セグメント別業績：油脂事業

- 売上高は、価格改定による販売価格の上昇と業務用の高付加価値品の拡販により増収
- 営業利益は、価格改定による販売価格の上昇により、増益を確保しているものの、円安の進行や原料相場の高止まりなど厳しい事業環境が継続



# セグメント別業績：スペシャルティフード事業

- 売上高は、価格改定による販売価格の上昇とスターチの高付加価値品の拡販により増収
- 営業利益は、乳系PBFについては、マーガリン事業の価格改定と構造改革を推進したものの、販売重量や一部価格改定が想定を下回り悪化  
食品素材は、SOYシートとファインは好調に推移した一方、スターチは価格改定に努めたものの原料価格の高騰を受けて悪化



# 高付加価値品

- 売上高は、販売価格の上昇と業務用油脂の高付加価値品の伸長により増収
- 粗利益は、大豆・菜種及びパーム油・オリーブ油などの購入油の原料価格高騰を受けて悪化したが、価格改定の浸透と販売重量の増加により、四半期ごとに改善

## 【セグメント別売上高】

(億円)

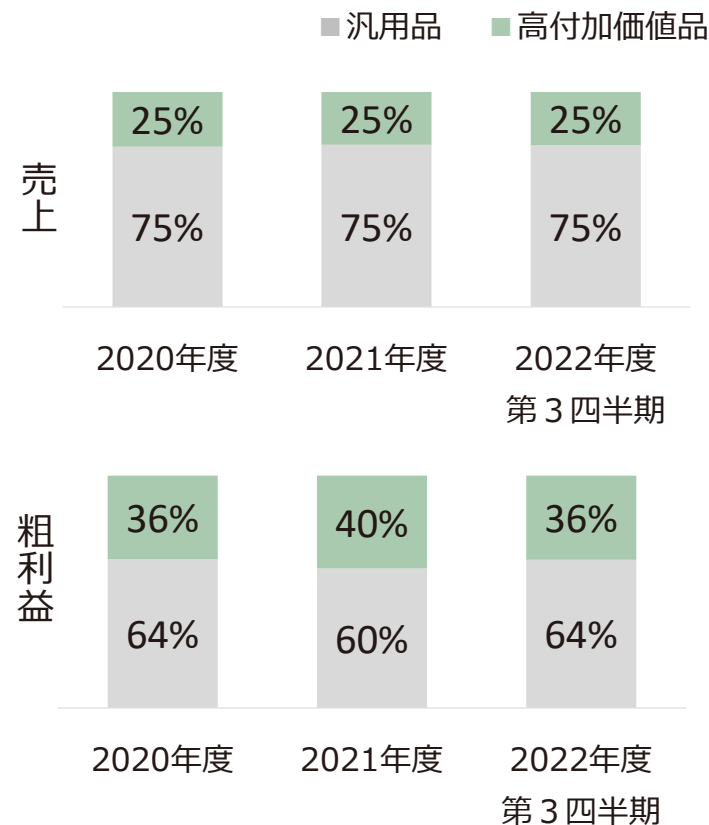
		2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	対前年 増減率
油脂 事業	家庭用	95.5	93.0	▲2.6%
	業務用	195.2	311.4	+59.5%
	合計	290.7	404.4	+39.1%
スペシャルティフード事業		77.8	83.2	+6.9%
高付加価値品合計		368.5	487.6	+32.3%

## 【高付加価値品推移】

(億円)

		2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	対前年 増減率
高付加 価値品	売上高	368.5	487.6	+32.3%
	粗利益	82.9	72.8	▲12.2%
	粗利益率	22.5%	14.9%	▲7.6pt

## 【高付加価値品 連結構成比】





# B/Sの状況

- 総資産は、売上債権の増加と棚卸資産の増加により前年期末から増加
- 負債は、運転資金の増加を有利子負債で対応したことから、前年期末から増加

## 連結貸借対照表

	21年3月末	22年12月末	増減
流動資産	942	1,137	+195
現預金	36	48	+12
売上債権	351	496	+145
棚卸資産	509	564	+55
その他	46	29	▲ 17
固定資産/繰延資産	675	677	+ 2
有形・無形資	542	540	▲ 2
投資その他	133	137	+ 4
資産計	1,617	1,814	+197

(億円)

	21年3月末	22年12月末	増減
負債	672	884	+212
仕入債務	171	187	+16
有利子負債	306	492	+186
引当金	44	39	▲ 4
その他	151	165	+ 15
純資産	945	929	▲ 16
株主資本	900	891	▲ 8
包括利益他	42	34	▲ 8
非支配株主持分	4	4	0
負債・純資産計	1,617	1,814	+197

- ・現預金（営業CF▲136、投資CF▲25、財務CF+173）
- ・原料価格上昇による棚卸資産の増加

### 棚卸資産の推移

(億円)



- ・原料価格上昇により運転資金が増加し、有利子負債増加

### ※ 有利子負債推移

(億円)

※有利子負債・・・社債と借入金の合計値を使用



# Agenda

1 2022年度 第3四半期 決算概況

2 2022年度 業績予想

3 参考情報

# 2022年度 連結業績予想

- 乳系PBFのマーガリン事業において、円安の進行や主原料であるパームなど原料相場の高騰を構造改革による収益改善、価格改定により一部吸収したものの、販売重量の減少や一部価格改定が想定を下回り、通期予想を下方修正

## 2022年度 通期業績

(億円)

	前期	11/16 修正予想※	2/3 修正予想	前年比	11/16 修正予想比
売上高	2,015.5	2,600.0	2,600.0	+29.0%	-
営業利益/営業損失	▲0.2	10.0	5.0	-	▲50.0%
経常利益	6.0	13.0	10.0	+67.6%	▲23.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19.5	12.0	9.0	▲53.9%	▲25.0%
営業利益率	- %	0.4%	0.2%	-	▲0.2ppt
ROE	2.1%	1.3%	1.0%	▲1.1ppt	▲0.3ppt

※11/16修正予想：セグメント別の内訳のみ修正

# 2022年度 セグメント別業績予想

## 2022年度業績予想

(億円)

	2021年度	11/16 修正予想	2/3 修正予想	前年比	11/16 修正予想比
<b>売上高</b>					
油脂事業	1,783.6	2,340.0	2,355.0	+32.0%	+0.6%
スペシャルティフード事業	211.3	250.0	235.0	+11.2%	▲6.0%
（内乳系PBF）※	127.0	154.0	140.0	+10.2%	▲9.1%
（内食品素材）※	84.3	96.0	95.0	+12.7%	▲1.0%
その他事業	20.6	10.0	10.0	▲51.4%	+0.0%
連結合計	2,015.5	2,600.0	2,600.0	+29.0%	+0.0%
<b>営業利益</b>					
油脂事業	3.3	10.0	10.0	+207.2%	+0.0%
スペシャルティフード事業	▲6.2	0.0	▲6.5	-	-
（内乳系PBF）※	▲8.7	▲2.9	▲9.1	-	-
（内食品素材）※	2.5	2.9	2.6	+5.9%	▲10.3%
その他事業	2.7	0.0	1.5	▲45.1%	-
連結合計	▲0.2	10.0	5.0	-	▲50.0%

※2022年度より油脂加工品を乳系PBFに名称変更、テクスチャーデザインとファインを食品素材事業に集約

# Agenda

1 2022年度 第3四半期 決算概況

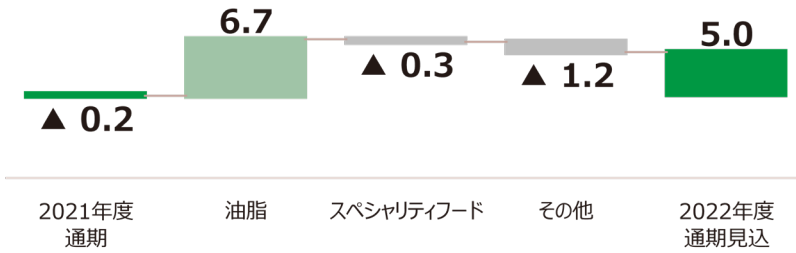
2 2022年度 業績予想

3 参考情報

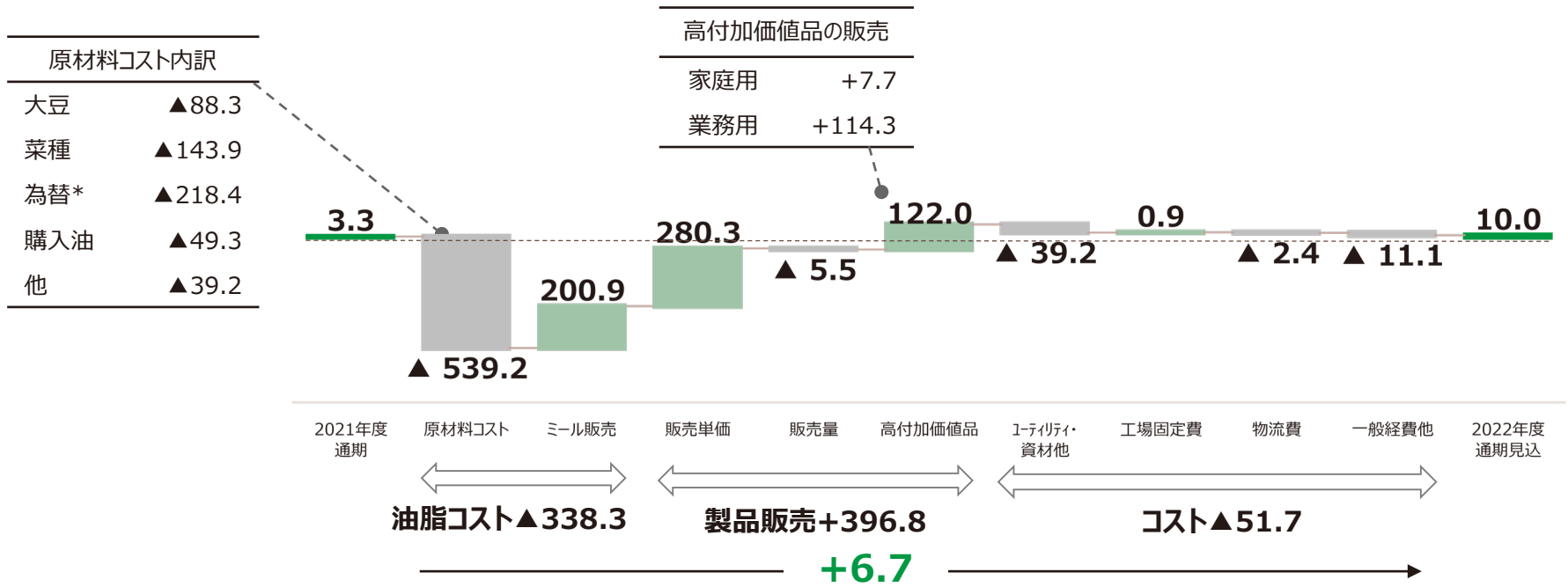
# 2022年度予想 営業利益増減分析

【セグメント別営業利益 増減】 (億円)

対前年同期実績



【油脂事業 営業利益増減分析】 (億円)



\*為替・・・21年度:110円/1ドル、22年度予想:131円/1ドル

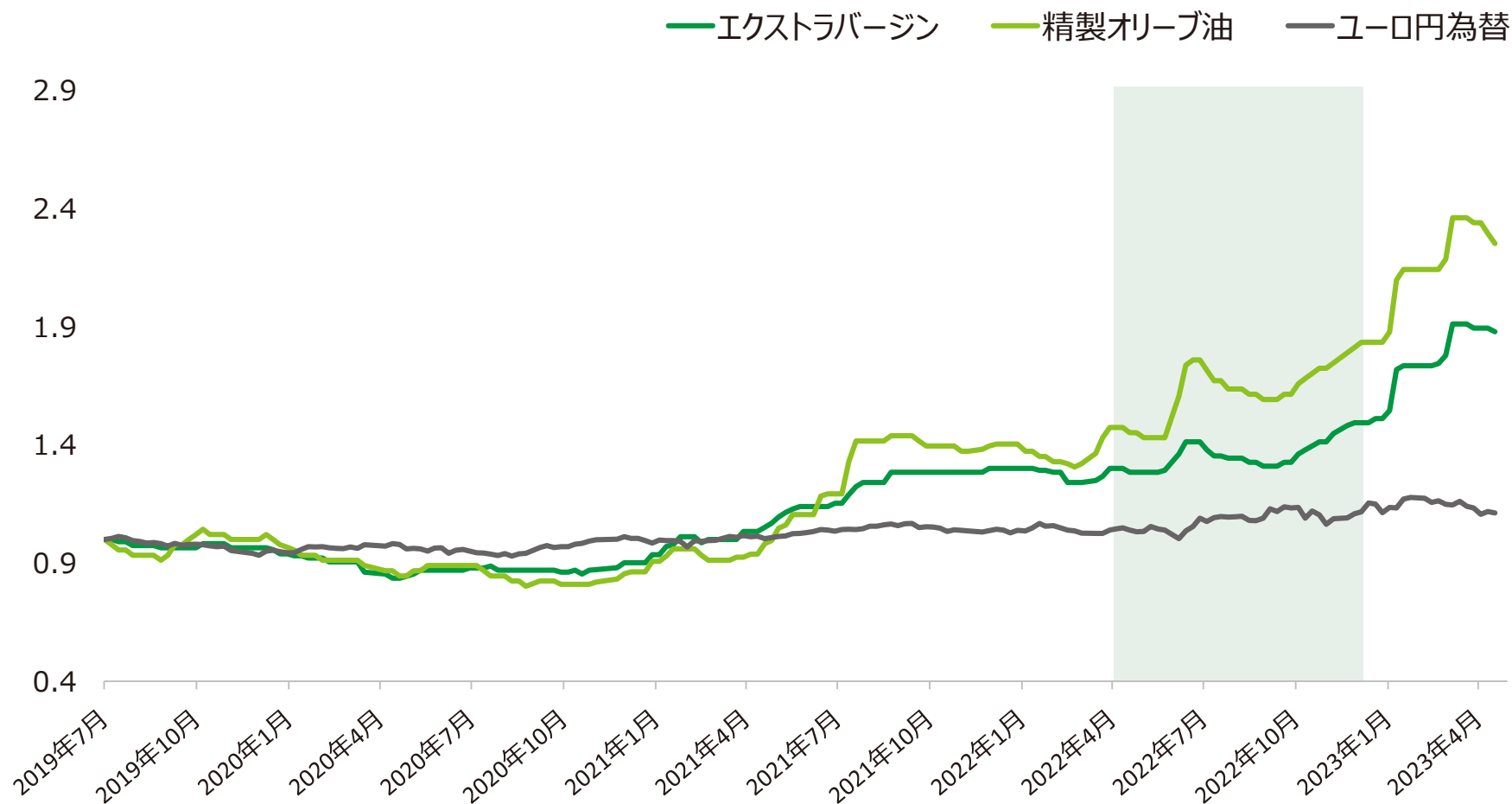
# 大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

\* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月が1となる))



# オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

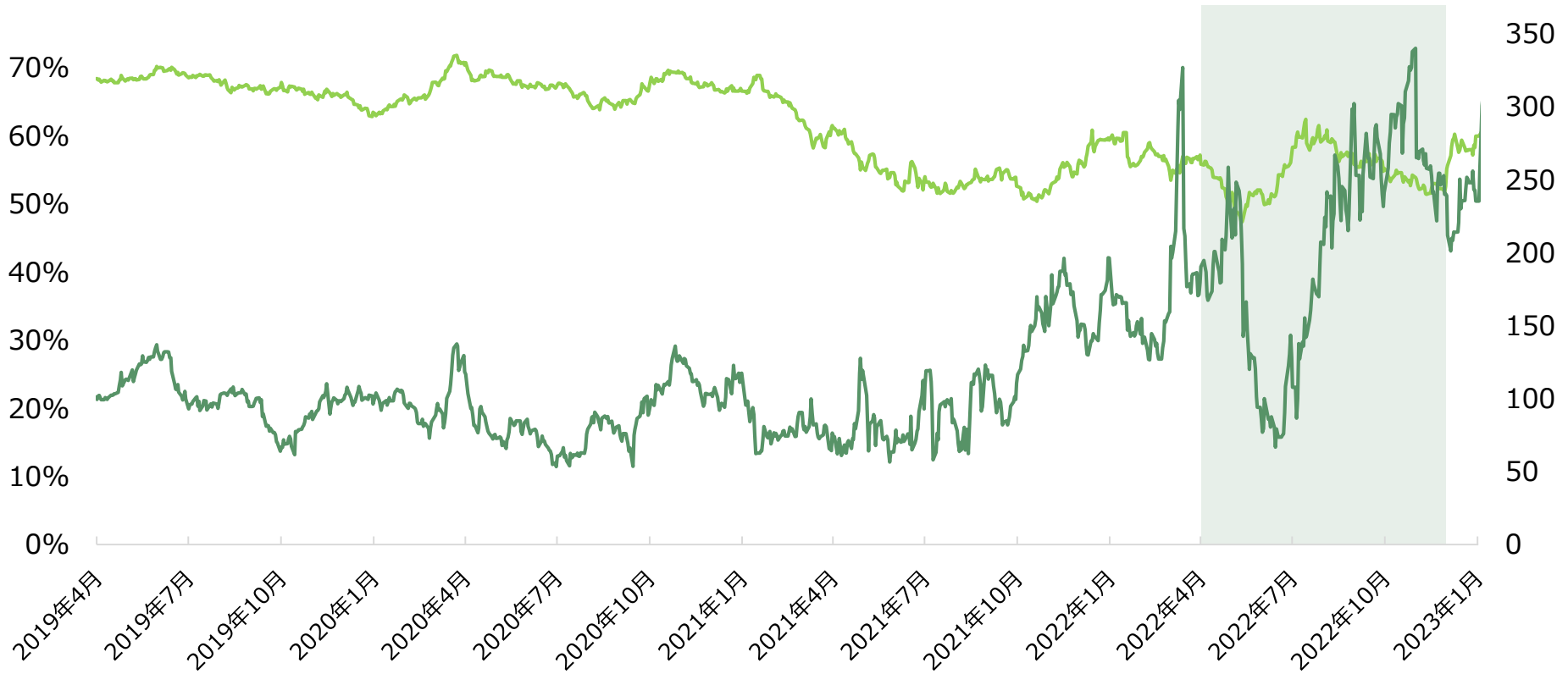
\* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月が1となる))





# ミールバリューの動向

—ミールバリュー —ボードマージン\*



\*シカゴ大豆定期1ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆1ブッシェルの価格の差

# 原材料動向

## ■ 外部環境：原料・為替状況

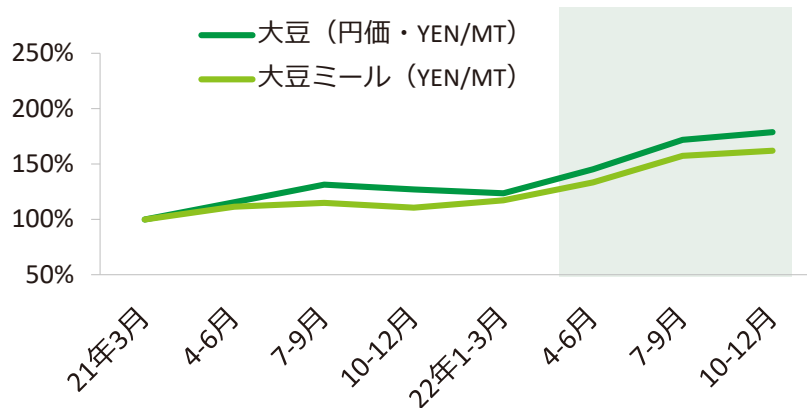
	22'1Q		22'2Q		22'3Q		22'4Q	
	結果 (前年)	対前年差	結果 (前年)	対前年差	結果 (前年)	対前年差	結果 (前年)	対前年差
大豆 ¢/Bu <sup>※2</sup>	1,559.0 (1,391.6)	+167.4	1,684.2 (1,497.3)	+186.9	1,530.0 (1,358.6)	+171.4	1,433.4 (1,254.3)	+179.1
菜種C\$/MT <sup>※3</sup>	1,057.3 (737.7)	+319.6	1,123.3 (864.7)	+258.6	835.9 (885.4)	▲49.5	871.7 (993.7)	▲122.0
ミルパリ1-%	57.0 (63.8)	▲6.8	52.3 (55.9)	▲3.6	58.0 (53.2)	+4.8	54.8 (54.8)	±0.0
海上運賃us\$/t <sup>※4</sup>	77.8 (58.2)	+19.6	85.4 (68.4)	+17.0	69.5 (89.6)	▲20.1	58.6 (82.4)	▲23.8
為替レート <sup>※5</sup>	117.3 (107.0)	+10.3	130.7 (110.5)	+20.2	139.4 (111.1)	+28.3	142.5 (114.7)	+27.8

※1: 搾油原料の買付けは基本的に約3カ月前の時点にて行っており、本図では各期の業績に影響のある期間相場の平均値を示しています

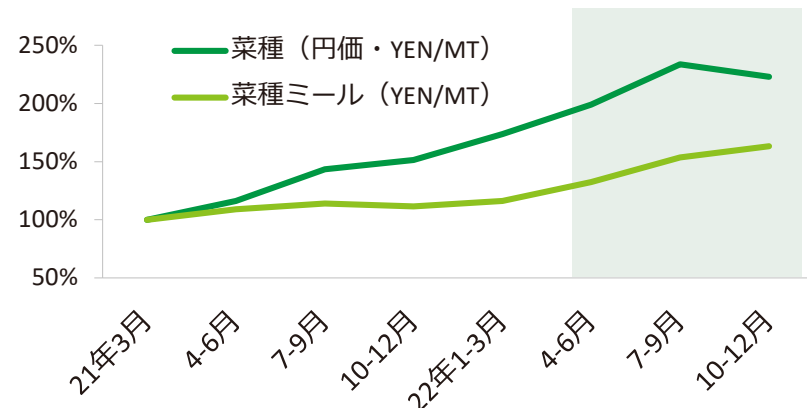
※2: シカゴ相場 ※3: ウィネペグ相場 ※4: US Gulf-Japan PANAMAX ※5: 為替TTSレート

## ■ 当社実績：原料価格推移

【原料価格推移：大豆・大豆ミール】



【原料価格推移：菜種・菜種ミール】



※2021年3月を1として算出 (当社実績)

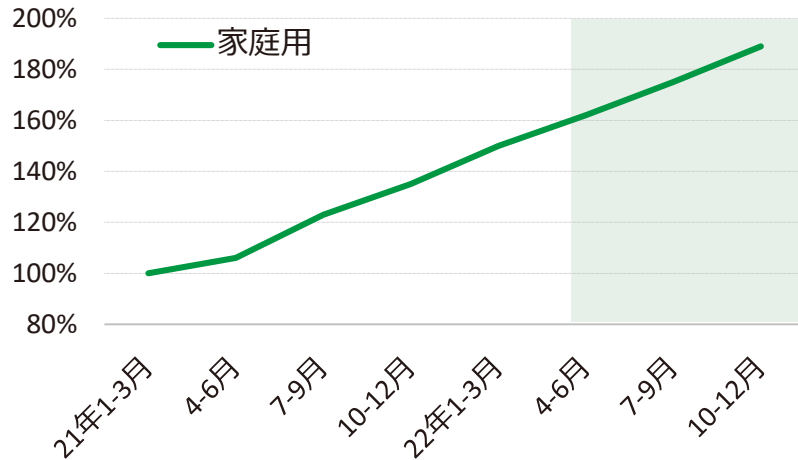
# 価格改定状況

## ■ 油脂製品の価格改定

2021年度		2022年度	
改訂日	対象/額	改訂日	対象/額
2021/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上 <sup>※2</sup>
2021/6/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/7/1	家庭用/業務用/加工用油脂 60-400円/kg以上 <sup>※3</sup>
2021/8/2	家庭用/業務用/加工用油脂 50円/kg 以上	※1 菜種油脂製品のみ対象	
2021/11/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	※2 2022/2/1に改訂した菜種油脂製品を除く全商品対象	
2022/2/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上 <sup>※1</sup>	※3 全商品対象	

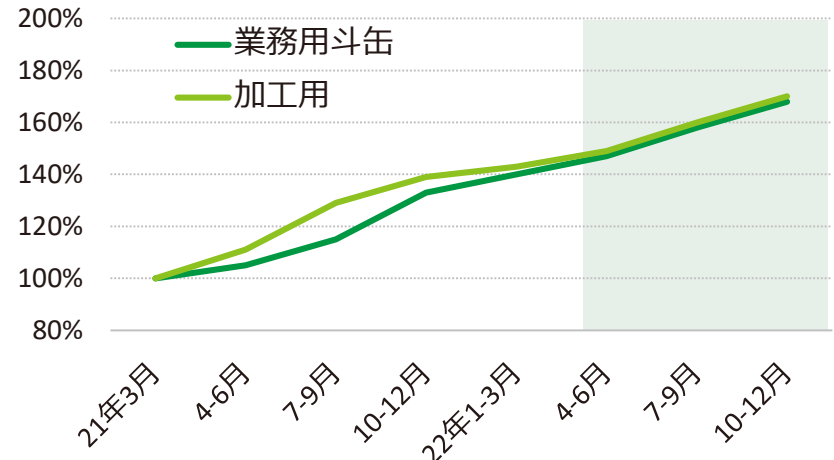
## ■ 価格改定推移（外部データ）

【家庭用油脂製品】



2021年1-3月を1として算出  
 出典：INTAGE (SRI+ 油脂市場:2021年1月～2022年12月)  
 当社ベーシックオイル平均単価トレンド

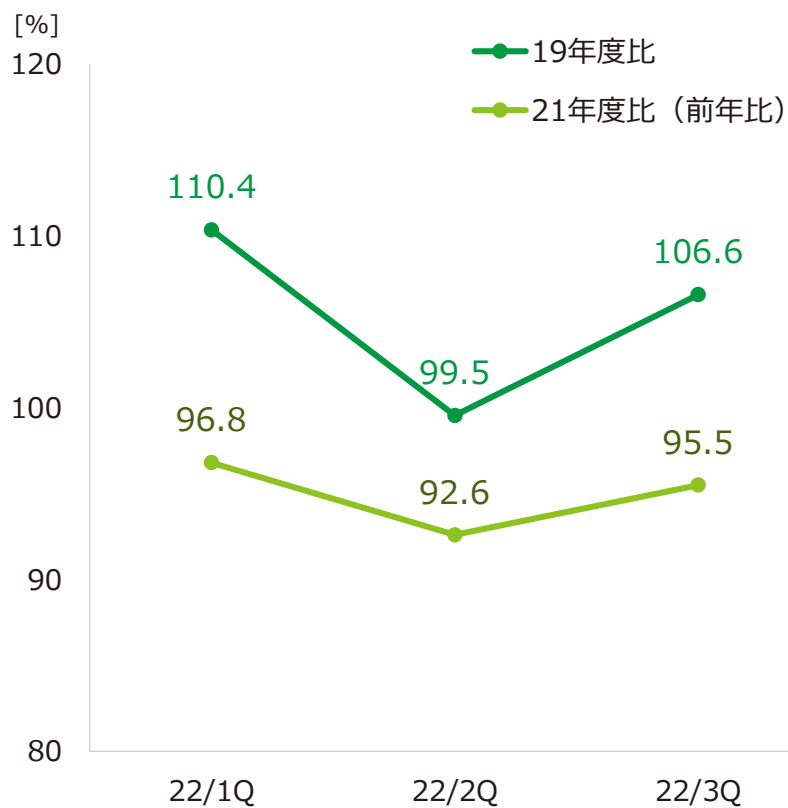
【業務用油脂製品】



2021年1-3月を1として算出  
 出典：日経相場情報より

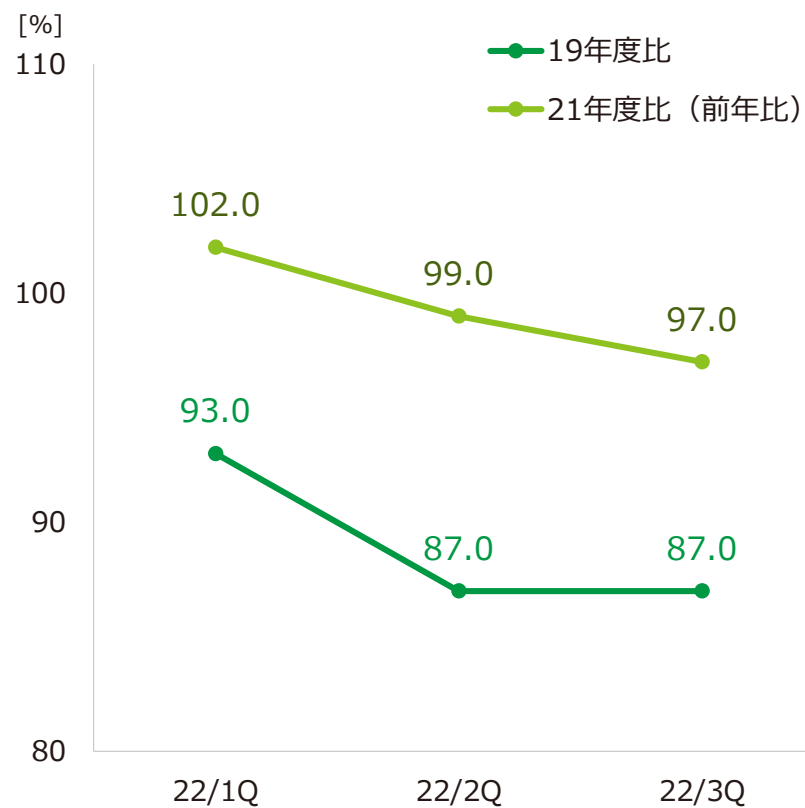
# 油脂事業：市場環境

家庭用油脂市場（重量）



※INTAGEデータ（SCI 油脂市場:2019年4月~2022年12月）

業務用油脂市場（重量）



※当社推計

# 主な経営指標

	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 1月修正計画	2024年度 当初目標	2026年度 修正目標	2030年度 目標※2
	第五期中期経営計画				第六期中期経営計画			+2年	
売上高	1,834	1,868	1,782	1,648	2,016	2,600	2,200	–	2,500
営業利益	40	57	67	67	-0.2	5	110	110	240
営業利益率	2.2%	3.0%	3.7%	4.1%	0.0%	0.2%	5.0%	–	9.0%以上
ROE	4.9%	5.6%	5.9%	5.7%	2.1%	1.0%	8.0%	8.0%	12.0%以上
ROIC	2.4%	3.6%	4.3%	4.1%	-0.0%	0.2%	5.5%	5.0%	8.0%
EPS (円) ※1	124.8	144.2	158.1	159.6	59.2	27.2	260	260	500以上
D/Eレシオ	0.42	0.30	0.26	0.24	0.32	0.53	–	–	0.50以下
CCC	117日	112日	114日	124日	118日	–	–	–	–
配当性向	36.1%	31.2%	31.6%	31.3%	84.2%	73.5%	40%	40%	40%

※1：株式併合・分割換算後

※2：第六期中期経営計画当初目標値（2021年5月20日公表数値）

※3：M&A等による成長投資を最大300億円実施した場合は0.7迄増加見込み

